



5月の主な行事

1日	： 梅デー	9日	： 母の日
2日	： 八十八夜	12日	： 看護の日
3日	： 憲法記念日	16日	： 旅の日
4日	： みどりの日	17日	： 世界電気通信記念日
5日	： こどもの日	31日	： 世界禁煙デー



今月のかわら版 : 1 「端午の節句」

五月五日は端午の節句。端午の節句の起源は、古代中国に遡ります。古来中国では、五月は物忌み（不吉であるとして神事を忌み避けること）の月とされ、厄払いの行事が盛んに行われていました。端午の「端」は「はじ・最初」の意味で、「午」は「うま」、つまり端午とは、最初の午の日という意味で、五月に限ったものではありませんでした。やがて午（ご）と五（ご）のゴロが同じことからこの行事は、五が重なる五月五日に大切な厄払いの日として定着します。この日に人々は蘭の湯に浸かり、薬草である菖蒲酒を飲み、その菖蒲で体のけがれを祓って健康と厄除けを願いました。

日本でもこの風習が奈良時代に取り入れられました。、宮中では厄除けの菖蒲をかざり、皇族や臣下の人たちにはよもぎなどの薬草を配り、また病気や災いをもたらすとされる悪鬼を退治する意味で、馬から弓を射る儀式などがさかんに行われるようになりました。

宮中でのこの行事が鎌倉の武家社会へと広がります。武士の間では、尚武（しょうぶ・武道を大切なものと考えること）の気風が強く、「菖蒲」と「尚武」をかけて、端午の節句を尚武の節句として盛んに祝うようになりました。

江戸時代に入ると幕府は五月五日を重要な日と定め、大名や旗本は式服で江戸城に参り、将軍にお祝を奉じるようになり、将軍に男の子が生まれると門前に馬印（うましるし・戦場で敵味方の識別や武将自らの存在を誇示するために用いた目印）や幟（のぼり）を立てて祝いました。これらの風習が武士だけではなく、庶民の間にも広まっていきます。武家の幟に対抗して、庶民は鯉のぼりを飾り、また紙で作った兜（かぶと）や人形を飾り、これが武者人形などに発展していきました。

◆柏餅（かしわもち）と粽（ちまき）◆

端午の節句に柏餅を食べるという習慣は、江戸時代初期から。柏の葉は、新芽が出ないと古い葉が落ちないという特徴があり、これを「子供が産まれるまで親は死なない」＝「家系が途絶えない」＝「子孫繁栄」という縁起に結びつけられました。粽は中国の行事とセットで日本へ伝わってきた習慣です。粽には「難を避ける」という縁起的な意味があるのだそうです。

風薫り、草萌える五月。真っ青な空に悠々と泳ぐ鯉のぼり。清々しく空晴れ渡るこの季節はまさにこどもの日にぴったりの季節ですね。



今月のかわら版 : 2 「水産物に関するエコラベルをご存知ですか？」

今、大西洋クロマグロの生息数の激減のため欧州連合（EU）が商業目的の国際取引を禁止するため、野生動物の保護を目指すワシントン条約締約国会議に大西洋クロマグロを絶滅危惧種に指定するよう提案を行っています。この提案は、日本や中国の反対工作が功を奏し、中東諸国やアフリカ諸国の反対票を多数集め、大差での否決となり日本にとっては一安心となったところですが、まだまだ油断のならない問題として今後も継続して議論されるハズです。

クロマグロの激減の理由は「獲り過ぎ」といわれています。こうした「獲り過ぎ」は国連食糧農業機関（FAO）の試算によれば、把握している業資源の4分の1が該当し、その内の3分の1は資源量が枯渇した状態にあるとの報告がされています。

こうした状況を改善するための漁業管理が世界各地で実施されています。そのひとつに国際NGOであるMSC（海洋管理協議会 Marine Stewardship Councilの略）が管理・制定している認証制度があります。MSC認証とは、持続可能な漁業を推進するよう適切に管理された漁業であることを認証する「漁業管理認証」と、水産物の加工・流通等全てのサプライ・チェーンにおいて他の水産物と区別して管理するトレーサビリティを認証する「CoC認証」があります。

漁業関係者が、「漁業管理認証」を取得し、それを取り扱う水産物の加工・流通業者が「CoC認証」を取得することで、はじめて、MSCのラベルを表示した水産物が店頭にも並ぶこととなります。

現在、MSCラベル製品は約3000件ほどですが、2007年が608件、2008年が1421件と欧米を中心に急速に普及しはじめています。日本でもMSCのラベルの付いた商品が大手スーパーのひとつのイオンなどの店頭にも並ぶようになっていますがまだまだ認知度が低い状況です。

世界で流通している水産物の30%が日本で取引されているといわれていますが、日本国内でこうしたMSCラベルのついた水産物商品が当たり前のようにスーパー等の小売店の店頭にも並ぶような時代になれば大西洋クロマグロのような問題はおきにくくなります

